



いいね!!南房総の教育②

千葉県木更津市貝渕3-13-34
TEL 0438(25)1311
FAX 0438(22)4302
発行責任者 所長 五十嵐 信昭

【10月25日 大雨】 《児童生徒等の在校時を襲った大雨》

- 台風21号周辺の湿った空気が流れ込み、昼前から昼過ぎにかけて強い雨雲が発達し、県内の広い範囲で猛烈な雨が降った。
- 千葉県は災害対策本部（第2配備体制）を設置した。（台風15号から継続）

《県内の災害状況》

- ・記録的な大雨のため、県内の所々で土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が極めて危険な状況（レベル4相当）となった。
*総降水量（10月25日 0時～25日24時） 牛久 285ミリ 大多喜 276ミリ 鴨川 246ミリ
- ・鉄道の運休や広域の停電等、交通障害やライフラインに大きな影響があった。
- ・学校では児童生徒が在校中に天候が刻々と変化し、河川の増水や道路の冠水など通学路の安全が確保できない学校もあった。そのため、各学校は児童生徒等を下校させるかどうか、難しい判断を迫られた。
- ・児童生徒等を通常時刻に下校させず、学校に引き留めた公立学校は、小中学校で319校（32.4%）高等学校20校（13.7%）特別支援学校9校（22.0%）に上った。
- ・児童生徒等の安全確保のため、学校等に宿泊した児童生徒は833人に及んだ。当該校は、教職員が宿泊し、食料等は予め学校に備蓄してあるものや、市町村からの支援物資等を使用して一夜を過ごした。
- ・校外学習からの帰りに激しい雨による通行止めや渋滞に遭い、学校到着が深夜に及んだ小学校が管内で5校あった。

【市町村教育委員会や学校が抱えた主な課題】

- ◇停電、断水により長期の休業を強いられたこと
 - ・信号機の不能や倒木等で安全な通学が保障できない。トイレや水道が使用できない。給食が供給できない。 → 給水車、電源車手配
- ◇通信機能が遮断されたこと
 - ・休校や登校再開等の連絡がつかない。固定電話、メール、携帯電話、防災無線が使えない。児童生徒の安否等確認や、学校の被害状況が確認できない。
→ 家庭訪問、広報車、給水所やスクールバス停留所等への張り紙、携帯電話使用可能場所まで移動しての連絡等で対応。
- ◇学校の施設・設備等が破損し、安全性がすぐに確保できなかったこと
 - ・校舎等の破損、倒木、雨漏りやベランダからの浸水（PC、教科書、教材等が破損、汚損等）
- ◇学校を再開する判断、安全な登下校や学校生活に向けた対応が難しかったこと
 - ・給食が配給できない。通学路の安全が確保できない。道路通行止めでスクールバスが運行できない。電源車が配備できない。児童生徒等宅の停電や断水等が解消しない。
- ◇児童生徒等在校時の対応（下校、留め置き判断）に関すること
 - ・学校や地域の危険度に応じて、どのような判断、対応をしていくか。
 - ・河川の増水や道路の冠水状況などの正確な情報を、どのように把握するか。※市町防災部局との連携
 - ・下校させる場合、児童生徒等の安全性をどのように確保するか。
 - ・引き渡しを確実かつ円滑に行うにはどうすればよいか。
 - ・スクールバスで登下校する児童生徒等の安全をどのように確保するか。
 - ・特別な支援を要する児童生徒等に対し、どのような対応をしていけばよいか。
 - ・児童生徒等を学校に留め置くことを想定し、学校体制をどのように整備していくか。
 - ・近隣の園、学校等との連携をどのように図っていくか。